

平成28年度 知的財産部会 活動報告

平成28年4月1日～平成29年3月31日

一般社団法人全日本文具協会

1. 第27回国際文具紙製品展 (ISOT2016) における模倣品実態調査

国際文具・紙製品展 (ISOT) では、全ての出展社に対して「模倣問題に関する誓約書」の提出を義務付け、同展における模倣品の展示・取引の防止に努めている。当協会知的財産部会は、弁理士立ち合いのもと、ISOT2016展示会場での模倣品展示についての調査を実施し、模倣品出展業者に対しては、誓約書に基づき当該商品の撤去を要請した。この取組は平成16年のISOT2004より継続して実施しており、同展における模倣品展示・取引の抑止力となっている。

実施日時 平成28年7月6日 (水) 10時30分～14時

実施対象 第27回国際文具・紙製品展の出展ブース

弁理士 黒川 朋也 氏 (創英国際特許法律事務所 副所長・弁理士)

参加人員 24人 (知的財産部会委員20人、弁理士1人、通訳1人、事務局2人)

調査結果 中国企業1社による特許権侵害1件、商標権侵害4件 (ボールペン7品番) を発見。

対応 交渉の結果、知的財産権侵害確認同意書の提出、模倣品の撤去を同意。

2. 文紙MESSE2016における真正品・模倣品比較展示

文紙MESSE2016の来場者及び出展関係者への模倣品に対する注意喚起を行う目的で、会員企業から提供された文具の真正品と模倣品の比較展示を行い、来場者に文具の模倣品に関する情報提供と啓蒙を行った。

設営日時 平成28年8月9日 (火) ～10日 (水)

設営場所 マイドームおおさか 2階会場

展示内容 会員企業10社の協力により文具18製品の真正品と模倣品を比較展示

(ボールペン、マーキングペン、シャープペンシル、パステル、ポスターカラー、液状のり、ステープラー、ステープラー針、鉛筆削り器、ハサミ等)。

3. 知的財産権に関する講習会等の開催

(1) 知的財産権講習会

開催日時 平成28年9月28日 (水) 15時～17時

開催場所 東京文具工業健保会館5階ホール

テーマ 日本が生んだ世界食「インスタントラーメン」に学ぶ知財戦略

講師 加藤 正樹 氏 (元日清食品ホールディングス(株) 知的財産部長)

受講者数 53人

(2) 知的財産権講習会

開催日時 平成28年11月29日（火）14時～15時

開催場所 東京文具工業健保会館5階ホール

テーマ 商標行政の現状について

講師 山田 啓之 氏（特許庁 雑貨繊維審査室 先任上席審査官）

受講者数 42人

(3) 知的財産権セミナー

開催日時 平成29年2月14日（火）14時～16時30分

開催場所 ヒューリックカンファレンス ROOM 5

テーマ 第1部 国内・海外のインターネット模倣品問題への対応と施策

第2部 楽天市場における模倣品問題と対策

第3部 特許庁における平成29年度の知財支援策

講師 第1部 鷹野 亨 氏（経済産業省 模倣品対策室 模倣品対策専門官）

第2部 塩原 聡 氏（楽天株式会社 サービス管理部 副部長）

第3部 梶口 豊 氏（特許庁 普及支援課 課長補佐）

受講者数 52人

4. 知的財産権交流会の開催

（一社）全日本文具協会、（一社）日本玩具協会及び（一社）日本時計協会により、知的財産権に関する交流会を開催し、知的財産権に関する情報交換を行った。

開催日時 平成28年11月29日（火）15時～17時30分

開催場所 東京文具工業健保会館5階ホール

内容 各団体における知的財産権擁護（商標）に関する活動報告
商標制度等に関する意見交換

進行役 水野 清 氏（特許業務法人コスモ国際特許事務所 代表弁理士）

参加者数 39人（文具協会17人、玩具協会10人、時計協会9人、他3人）

5. 中国冒認意匠登録のウォッチング

中国では、意匠権は無審査により登録されるため、わが国の文具製品に関する意匠権が、出願する権利のない者により出願され（冒認出願）、登録されてしまう懸念がある。

権利のない者が実施する冒認出願にともなう意匠登録の有無を検証し対応するため、日本アイアール社が提供する中国意匠公報に関する情報を、7社・2団体により共同購読した。

当該公報からの情報に基づいた模倣品対策等の企業間連携については、参加企業が個々に対応することになっている。

当協会は平成27年より情報を保管している。

以上。